



DAIHATSU

01999-B2318

MOVE

フロントシートリフト

取扱説明書

ご使用の前によくお読みください



このたびは、ダイハツ車をお買い上げいただき、 ありがとうございます。




本書は、ムーヴフロントシートリフトの
専用機構について説明しています。
ご使用の前に必ずお読みください。
なお、基本的な内容は同梱の
ムーヴ取扱説明書を参照ください。

必読！ドライバーのみなさまへ

特に重要な事柄です。必ず読んでから操作、あるいは作業に取りかかってください。これらを守らないと思わぬけがや事故につながったり、車を損傷するおそれがあります。

安全についての表示マーク・その他の表示マーク

本文中に記載されているマークの意味は下記の通りです。

 警告	警告事項を守らないと、生命にかかわるけが、あるいは重大なけがにつながるおそれがあります。
 注意	注意事項を守らないと、けがや事故、車の破損につながるおそれがあります。
 知識	お車を使ううえで守っていただきたい、または知っておいていただきたい事項です。
オプション/グレード別装備	オプション、またはグレードなどにより、装備の有無の異なる項目です。

ご愛車のために

- 車種によって取り扱い方法が異なる場合は、車両型式やエンジン型式を確認したうえで操作を行ってください。車両型式、エンジン型式は本書の「ご愛車に関するメモ」にあらかじめ記入しておくとお便利です。
- 保証および点検・整備については、別冊の「メンテナンスノート」に記載していますのでお読みください。
- お車をゆずられる際は、次のオーナーのために必ず本書を車に付けておいてください。
 - 車の仕様変更により、本書の内容やイラストがお車と一部異なる場合がございますがご了承ください。
 - 本書は別冊の「メンテナンスノート」とともに、いつもお車に保管しておいてください。
 - ご不明な点は、ご購入先のダイハツサービス工場（営業スタッフ）におたずねください。

目次

こんなときは

シートリフトが動かない 2

必読！ ドライバーのみなさまへ

車を運転する前に 6

車を運転するにあたって 7

フロントシートリフトの 取り扱い

シートリフト

各部の名称 10

リクライニング調整 11

ヘッドレストの調整 12

折りたたみ式フットレスト 13

アームレスト 14

シートリフト操作スイッチ 15

リモコンスイッチ 16

電池交換 19

シートリフトの使いかた 20

非常時の収納方法 28

チャイルドシートの

取り付けについて 34

車いすの収納

車いすの収納について 35

車いす収納方法 37

非常用工具

収納場所 38

ヒューズの点検と交換

ヒューズの点検と交換 39

定期点検整備

車の点検・お手入れ 42

さくいん

さくいん 45

お困りの際は、次のことを確認してください。

シートリフトが動かない

● シートリフトが何かに当たっていませんか？

乗降者の手足などが車両に当たっていないことを確認し、障害物を取り除くなどしてください。

→ 23 ページ（挟み込み防止機能について）

● シフトレバーは になっていますか？

シートリフトはシフトレバーが  以外では動きません。

→ 20 ページ（シートリフトの使いかた）

● 助手席のシートベルトは外れていますか？

助手席のシートベルトを着用したままでは動きません。

→ 23 ページ（助手席シートベルトについて）

● リモコンスイッチの電源は“ON” になっていますか？

リモコンスイッチは電池の消耗を防ぐため、一定時間操作が行われないと、自動的に電源が切れます。

→ 18 ページ（リモコンスイッチの使いかた）

● リモコンスイッチ、またはシートリフト操作スイッチを正しく操作できていますか？

断続的にスイッチを押したり、複数のスイッチを同時に押しても動きません。

→ 15 ページ（シートリフト操作スイッチ）

→ 18 ページ（リモコンスイッチの使いかた）

● リモコンスイッチの電池の消耗、または電池が切れていませんか？

症状を確認して、該当すれば電池を交換してください。

→ 17 ページ（電池について）

→ 19 ページ（電池交換）

● 車両のバッテリーが消耗していませんか？

・ エンジンがかかる場合は、エンジンを始動してください。

・ 車両のバッテリーを充電、または交換してください。



→ ムーヴ取扱説明書（バッテリーあがりの処置）

ブザー音について

- シートリフト操作時は、下記のブザーが鳴ります。

ブザー音	シートリフトの作動・状況
ピッ	シートリフトの昇降操作を開始したとき
ピッピッ	シートリフトが下降完了したとき
ピッピッピッ	シートリフトのシートセット（シートの収納）を完了したとき

- なんらかの原因で異常が発生したときは、下記のブザーが鳴ります。

ブザー音	シートリフトの作動・状況	対処方法
ピー (継続音)	障害物などに当たってシートリフトが停止したとき	乗降者の手足などが車両に当たっていないことを確認し、障害物を取り除く
	シフトレバーが  以外のときにシートリフトを操作したとき	シフトレバーを  にする
	助手席シートベルトを外さずにシートリフトを操作したとき	助手席シートベルトを外す
	シートセットが不完全な状態でシートリフトを止めたとき	スイッチの上昇を押し続けてシートセットを完了する
	回転作動の途中で、助手席ドアが閉まったとき	助手席ドアを全開にする
ピーッ… ピーッ… (断続音)	シートリフトに異常があるとき	<ul style="list-style-type: none"> ● 収納できるときはシートセットを完了する → 29 ページ (上昇するが下降しないとき) ● 収納できないときは、症状を確認して該当する処置を行ってください。 → 28 ページ (非常時の収納方法)

[illegible]

安全のためにぜひ守りましょう



必読！

ドライバーのみなさまへ

ご使用の前に、特に守っていただきたいこと、
知っておいていただきたいことをまとめています。



警告に値する項目です

注意に値する項目です

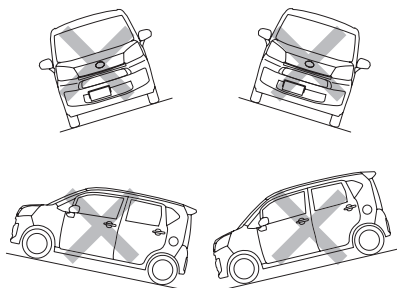
車を運転する前に 6

車を運転するにあたって 7

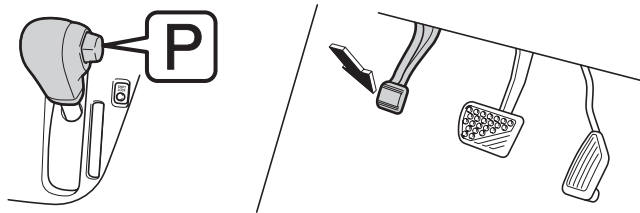
車を運転する前に

シートリフトを乗降するときは

- 操作は、必ず介添えの方が行ってください。
- 平坦地で車の通行が少ない、安全な場所に停車して乗降してください。
坂道や交通量の多い道路、平坦でない道路や舗装されていない所、狭い所などでの乗降は、乗降者の足元が不安定になり大変危険ですので、絶対に行わないでください。



- 強風時、または傾斜地などで助手席ドアを開けた状態で、シートリフトを車体の外側に出していると、助手席ドアが動きシートおよび乗降者に当たるおそれがありますので注意してください。
- 介添えの方は、必ず駐車ブレーキをかけた状態を確認し、シフトレバーを **P** レンジに入れて、操作してください。また、車両周辺の交通に十分注意して操作してください。



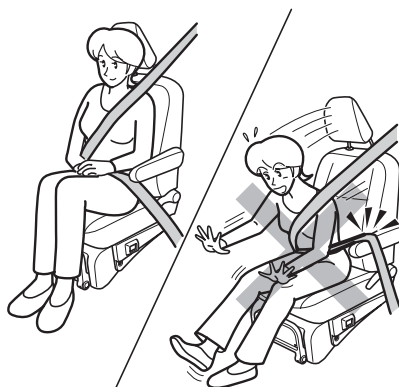
車を運転するにあたって

シートリフト乗員もシートベルトを着用してください

- 走行する前にシートリフトのシートセットが完了して固定されていることを確認してください。シートが確実に固定されていないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

(シートを車内に戻すとき→ 27 ページ)

- 走行する前に必ず運転者、同乗者とも全員がシートベルトを着用してください。(リヤシートでも必ずシートベルトを着用してください。)
- 走行時は、シートリフト乗員も必ず標準装備のシートベルトを着用してください。また、オプション設定の胸部固定用ベルト(別売)を、シートベルトの代用として使用しないでください。
- シートベルトは正しく着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶおそれがあり危険です。必ず正しい着用方法を身に付けてください。



半ドア状態のまま走行しないでください

走行する前に助手席シートベルトを着用し、半ドア警告灯が消灯してすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。

助手席シートベルトを着用せずに半ドア状態のまま操作スイッチを操作するとシートリフトが動き、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

シートリフトにチャイルドシートを取り付けしないでください

シートリフトやチャイルドシートが破損したり、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



フロントシートリフトの 取り扱い

フロントシートリフト専用の取り扱い方法について説明しています。

シートリフト

各部の名称	10
リクライニング調整	11
ヘッドレストの調整	12
折りたたみ式フットレスト	13
アームレスト	14
シートリフト操作スイッチ	15
リモコンスイッチ	16
電池交換	19
シートリフトの使いかた	20
非常時の収納方法	28
チャイルドシートの 取り付けについて	34

車いすの収納

車いすの収納について	35
車いす収納方法	37

非常用工具

収納場所	38
------	----

ヒューズの点検と交換

ヒューズの点検と交換	39
------------	----

シートリフト

各部の名称



知識

リモコンスイッチ用ポケット



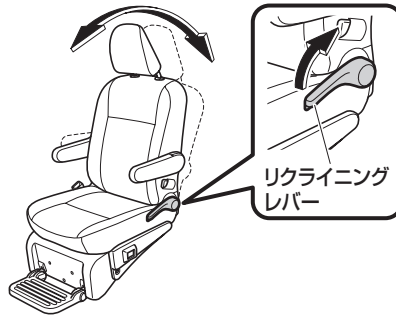
- リモコンスイッチは、シートリフトのポケットに収納できます。

シートについて

- 標準車のシートと形状、および仕様が異なります。
- 助手席のシートスライド調整はできません。
- 助手席シートベルト未装着警告灯、およびブザーはありません。

リクライニング調整

リクライニングレバーを引き上げ、背もたれの角度を調整します。



⚠ 警告

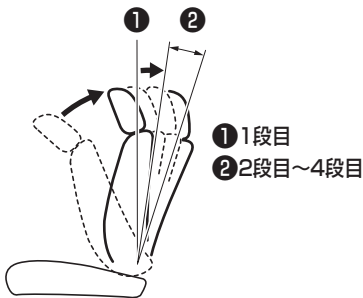
- リクライニング調整は必ず走行前に行い、調整後は背もたれを軽くゆすり、背もたれが確実に固定されたことを確認してください。背もたれが固定されていないと走行中に背もたれが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- リクライニングレバーを引き上げるときは、背もたれにあまり力をかけないでください。背もたれに強い力がかかっていると急に背もたれが倒れ、けがをするおそれがあります。

シートリフト操作前の調整

シートリフトを操作する前に必ず以下のリクライニング調整をしてください。



▼ 調整方法

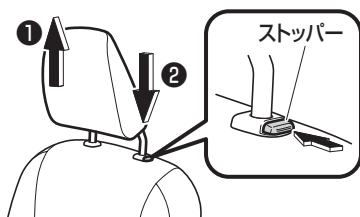
背もたれをいったん前に倒して、1 段目の固定位置まで起こし (①)、2 段目から 4 段目のいずれかの固定位置に調整する (②)

⚠ 注意

- 背もたれの角度は必ず 2 段目から 4 段目のいずれかの固定位置に調整してください。シートリフト回転時、車両に乗降者の体の一部が当たってけがをしたり、シートが損傷するおそれがあります。

ヘッドレストの調整

走行するときは、ヘッドレスト中央の高さが耳の後方になるようにヘッドレストの高さを調整します。



▼ 上下調整

① 上げる

② 下げる

● 下げるときは、ストッパーを押しながら操作します。

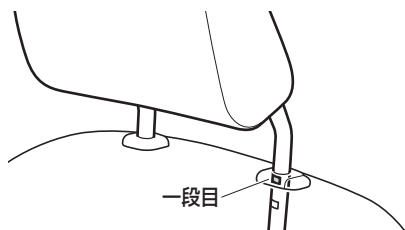
● 取り外すときは、ストッパーを押しながらヘッドレストを引き抜きます。

⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。走行前に必ず取り付け、ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。
- ヘッドレストを前後逆に取り付けしないでください。いざというとき、効果を発揮しません。

シートリフト操作前の調整

シートリフトを操作する前に必ず以下のヘッドレスト調整をしてください。



▼ 調整方法

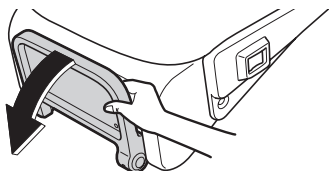
ヘッドレストを一段目の固定位置に調整する

⚠ 注意

- ヘッドレストは必ず一段目の固定位置に調整してください。
シートリフト操作時にヘッドレストが車両に当たり、損傷するおそれがあります。

折りたたみ式フットレスト

シートリフトを上昇、下降させるときに、乗降者のフットレストとして使用します。
フットレストはシート前側下部に折りたたんで収納されています。



▼ 使用方法

フットレストを前に倒す

- フットレストは片手で操作することができません。

⚠ 注意

- フットレストの上で立ち上がらないでください。フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。
- フットレストは、必ず先端部を持って操作してください。回転部近くを持つと、回転部で指などを挟み、けがをするおそれがあります。

アームレスト

▼ 使用方法

アームレストを前に倒す

アームレスト



⚠ 注意

- シートベルトを着用するときは、腰部ベルトが必ずアームレストの下側を通るように正しく着用してください。
- ハンドル操作時に、運転者の左ひじが、助手席のアームレストに当たることがありますので注意してください。
- 背もたれを前に倒すときは、アームレストを起こした状態にしてください。アームレストを倒したまま、背もたれを前に倒すと、アームレストがシートリフトの座面に当たり、損傷するおそれがあります。
- アームレストを操作するときは、シートとアームレストの隙間に手などを入れないでください。指や手などを挟んでけがをするおそれがあります。特に、お子さまが指などを挟まないように十分注意してください。
- アームレストの上に乗ったり、重いものを載せないでください。アームレストが破損したりけがをするおそれがあります。

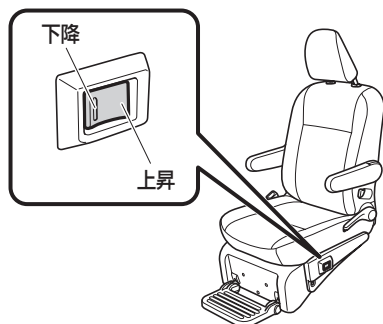
📖 知識

- シートベルトは、アームレストを起こした状態にすると、容易に着用することができます。

シートリフト操作スイッチ

シートリフトを操作する前に、必ず「シートリフトの使いかた」をお読みください。

(シートリフトの使いかた→20 ページ)



スイッチの使いかた

- スイッチを押している間、シートリフトが昇降作動します。
- スイッチから指を離すと、その位置で止まります。
- ▼ シートを下降させるとき
スイッチの前側を押し続ける
- ▼ シートを上昇させるとき
スイッチの後側を押し続ける

⚠ 注意

操作スイッチを操作するときは

- 故障の原因となりますので、断続的に操作スイッチの後側、または前側を押さないでください。断続的にスイッチを押してもシートリフトは作動しません。スイッチは押し続けてください。
- 操作スイッチを押している手や腕が車両との間に挟まれないように注意してください。



- シートリフト下降中は、障害物などに当たっても操作スイッチを押している間、シートは止まりません。異常を感じたらすぐに指を離して操作を停止してください。手足を挟んでけがをしたり、シートが破損するおそれがあります。

📖 知識

- 途中で回転、昇降を停止させるときは、操作スイッチから指を離すと、その位置で停止します。

リモコンスイッチ

離れた場所からシートリフト操作をすることができます。

▼ 操作を行う前に

⚠ 警告

- 植込み型心臓ペースメーカー、および植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用されている方は、電波による影響について、医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。
電波により、医療用電気機器の作動に影響をあたえるおそれがあります。

⚠ 注意

- リモコンスイッチを使用してシートリフトの操作を行うときも、周囲の安全を確認し、必ず介添えの方が乗降者を補助してください。
- 乗降者の頭、腕、足などが車両に挟まれていないことを確認できる位置で操作してください。
- 故障の原因となりますので、断続的に“上昇”または“下降”ボタンを押さないでください。断続的にボタンを押してもシートリフトは作動しません。ボタンは押し続けてください。
- ボタンの切り替え操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。瞬時に切り替え操作を行うと、シートリフトが故障するおそれがあります。
- シートリフト下降中は、障害物などに当たっても“下降”ボタンを押している間、シートは止まりません。異常を感じたらすぐに指を離して操作を停止してください。手足を挟んでけがをしたり、シートが破損するおそれがあります。
- リモコンスイッチは電子部品です。故障の原因となりますので、下記の事項を必ず守ってください。
 - リモコンスイッチをダッシュボードの上など、直射日光の当たる場所および、高温になるところに置かないでください。
 - 分解しないでください。
 - 落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
 - 水にぬらさないでください。水たまりなど、水中に落下させると故障の原因となります。
- リモコンスイッチの清掃にシンナー、ベンジン、ガソリンなどの溶剤を使用しないでください。表面が変形するおそれがあります。清掃するときは、水または、ぬるま湯を布などに含ませ、固くしぼってから、ふいてください。

知識

- リモコンスイッチは、周囲の状況により作動範囲が変わることがあります。
- 周囲の電波状況により“上昇”または“下降”ボタンを押してもシートリフトがまれに停止したり、作動しない場合があります。この場合は、立つ位置を変えてリモコンスイッチを押し直してください。押し続けたまま立つ位置を変えても、シートは作動しません。
- 助手席ガラスに金属を含有するウインドフィルムや、その他の金属物（ダイハツ純正品以外のアンテナなど）を貼り付けると、受信機への電波がさえぎられて受信感度が低下し、作動範囲が短くなるおそれがあります。
- リモコンスイッチは、持ち運びできるので紛失しないように、ご注意ください。
- リモコンスイッチを紛失し、新たにお買い求めの場合は、最寄りのダイハツサービス工場にご相談ください。

電池について

- 電池寿命は約 1 年間です。（1 回の操作時間を 30 秒、1 日の操作回数を 20 回で計算した場合）電池寿命は実際の使用状況によって変わります。
- リモコンスイッチを操作してもシートリフトが作動しない場合や、著しく作動距離が短くなった場合、またはリモコンスイッチのインジケータが暗くなったり、点灯・点滅しなくなった場合は電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。

（電池交換→19 ページ）

- 電池の交換をしてもシートリフトが作動しない場合は、ヒューズ切れが考えられます。点検してください。

（ヒューズの点検と交換→39 ページ）

リモコンスイッチの交換について

- リモコンスイッチを交換するときは、ID コードを登録する必要がありますので、最寄りのダイハツサービス工場にご相談ください。

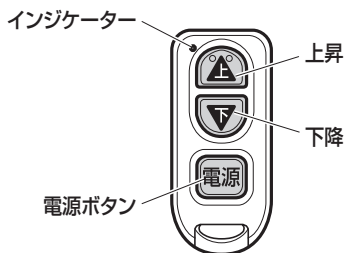
航空機に乗るときは

- 航空機にリモコンスイッチを持ち込む場合は、航空機内でリモコンスイッチのボタンを押さないでください。
- また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にボタンが押されないように保管してください。ボタンが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

リモコンスイッチの使いかた

シートリフトを操作する前に、必ず「シートリフトの使いかた」をお読みください。

(シートリフトの使いかた→20 ページ)



▼ “電源” ボタン

- ボタンを押すと、リモコンの電源が“ON”になります。
(インジケーターが赤色点灯)
 - 電源は、一定時間リモコンを操作しないと、自動的に“OFF”になります。
(インジケーターが消灯)

▼ “上昇” ボタン

- リモコンの電源が“ON”のときに、ボタンを押している間、シートリフトが上昇します。
(インジケーターが緑色点滅)
- ボタンから指を離すと、シートリフトが停止します。

▼ “下降” ボタン

- リモコンの電源が“ON”のときに、ボタンを押している間、シートリフトが下降します。
(インジケーターが緑色点滅)
- ボタンから指を離すと、シートリフトが停止します。

知識

- “上昇” “下降” ボタンを断続的に押したり、複数のボタンを同時に押したりすると、シートリフトは作動しません。
- リモコンスイッチは電池の消耗を防ぐため、一定時間操作が行われないと、自動的に電源が切れます。続けて操作するときは、もう一度“電源” ボタンを押してから操作してください。

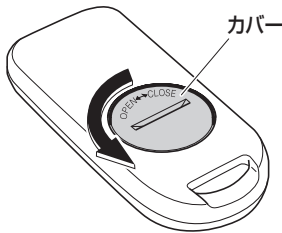
電池交換

リモコン操作ができなくなった場合は、電池の消耗が考えられます。
電池は、お客様自身で交換できます。

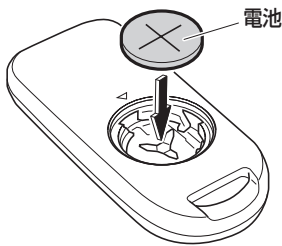
▼ 使用電池について

使用電池は「CR2032（3V）」です。

▼ 交換方法



- 1 コインなどを利用して、本体裏面のカバーを外す



- 2 電池を取り出し、新しい電池と交換する

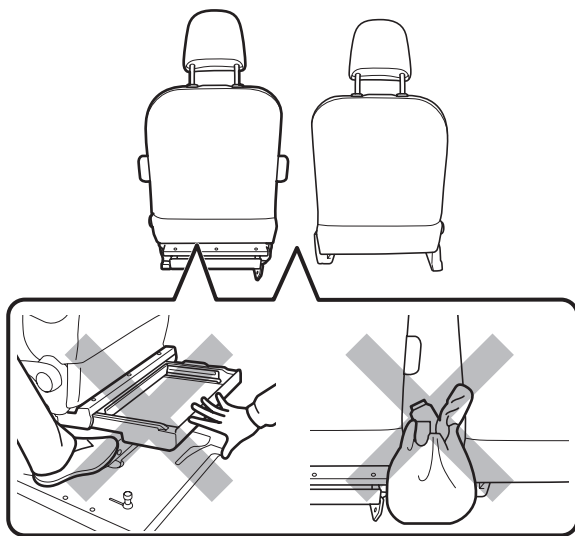
⚠ 注意

- 取り出した電池はお子さまが飲み込まないようにご注意ください。

シートリフトの使いかた

⚠ 警告

- 運転席とシートリフトの間、シートの動く部分や作動範囲周辺に手足など体の一部を近づけたり、荷物などを置いたりしないでください。手足など体の一部を挟まれてけがをしたり、シートや荷物が破損するおそれがあります。



- シートリフトを車外に出した状態で走行は、大変危険ですので絶対にしないでください。

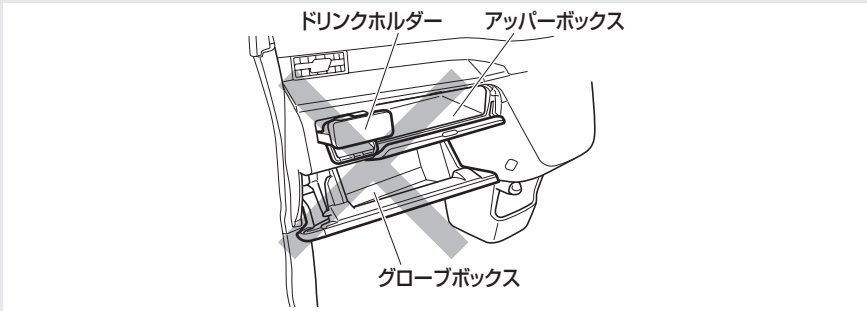
⚠ 注意

- シートリフトは、シフトレバーが **P** レンジ以外では作動しません。必ず駐車ブレーキを確実にかけ、シフトレバーを **P** レンジに入れてください。
- シートリフトを車外に出したまま、放置しないでください。特に炎天下、雨天、寒冷時などで放置するとカバー類の変形やモーターなどが故障するおそれがあります。
- エンジン停止させた状態で、10 回以上連続で作動させないでください。バッテリーあがりの原因となります。
- シートリフトは一人用で、最大昇降能力は 100kg です。危険ですので、シートに一度に二人以上乗車して使用しないでください。また、シートリフトが故障する原因になります。

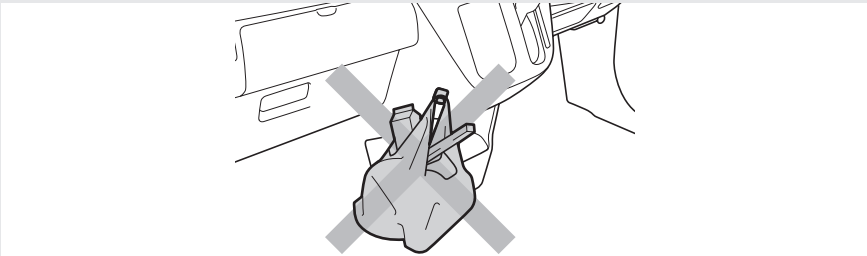
⚠ 注意

シートリフトを操作するときは

- 乗降するときに次のことを必ずお守りください。お守りいただかないとシートリフト乗降者がけがをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- グローブボックス、およびアップパーボックス（カスタム仕様車）と助手席ドリンクホルダーは必ず閉めておいてください。開けたまま操作すると、乗降者が手足を挟んでけがをしたり、シートがグローブボックスなどに当たって破損するおそれがあります。



- ショッピングフックを使用しないでください。シートが回転するときに、乗降者に当たってけがをしたり、荷物が損傷するおそれがあります。



- サンバイザーを格納してください。サンバイザーに頭やヘッドレストを当てるなど、思わぬけがをしたり、破損するおそれがあります。
- カー用品店などで購入できるルームミラーを取り付けしないでください。頭やヘッドレストを当てるなど、思わぬけがをしたり、破損するおそれがあります。
- 車内にシートおよび乗降者の体の一部が接触しないように注意してください。接触したときは、すぐに操作スイッチから指を離し、操作を止めてください。

⚠ 注意

- 乗降者の頭や手足など体の一部がドア開口部やインストルメントパネルなどに接触しないように注意してください。



- 助手席ドアは必ず開口限度まで開けて、シートおよび乗降者の体（特に頭部や手足など）がドアなどに接触しないようにしてください。シートおよび乗降者の体がドアなどに接触したときは、すぐに操作スイッチから指を離し、操作を止めてください。

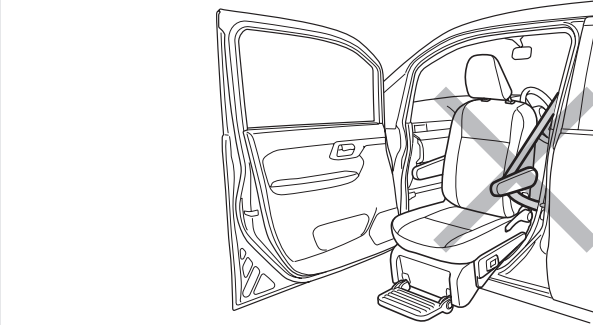


- シートリフトの下降位置周辺に障害物がないことを確認してください。シートを操作するときに障害物に当たり、シートが破損するおそれがあります。

⚠ 注意

助手席シートベルトについて

- シートリフト乗降者がシートベルトを装着したままではシートリフトは作動しません。必ずシートベルトを外してから操作してください。
- シートリフトを操作するときは、シートベルトがアームレストに引っ掛かっていないことを確認してください。シートベルトがアームレストに引っ掛かったままシートを操作すると、シートベルトが体に掛けてけがをしたり、シートが破損するおそれがあります。



- 助手席シートベルトを外したあとは、完全に巻き取られていることを確認してください。完全に巻き取られていない状態でシートを操作すると、シートベルトを巻き込んでシートが破損するおそれがあります。

📖 知識

- シートリフトの回転、昇降は連続して操作することができます。昇降の切り替え操作をするときは、約 1 秒以上たってから行ってください。
- シートリフトに異常が発生して上昇はするが下降しなくなったときは、異常状態を解除させるためにシートを車内に戻して、シートセットを完了させてください。

(上昇するが下降しないとき→ 29 ページ)

挟み込み防止機能について

- 挟み込み防止機能は、シートリフト乗降者のけが防止やシートリフト損傷の軽減を目的とした機能です。

下記の状態を確認して、シートリフトを操作してください。

- シートリフトが回転中、障害物に当たるなどして作動がさまたげられると警告ブザーが鳴り、シートは少し反転してから停止します。この場合、乗降者の手足などが車両に当たっていないことを確認し、障害物を取り除くなどしてください。

ブザー音について

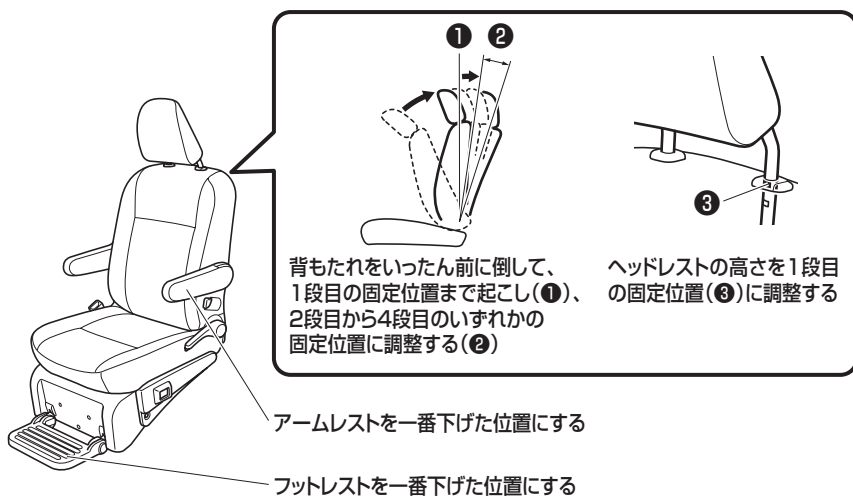
- シートリフトの操作状況や異常状態をお知らせするためにブザーが鳴ります。

(ブザー音について→ 3 ページ)

乗車する前に

操作方法

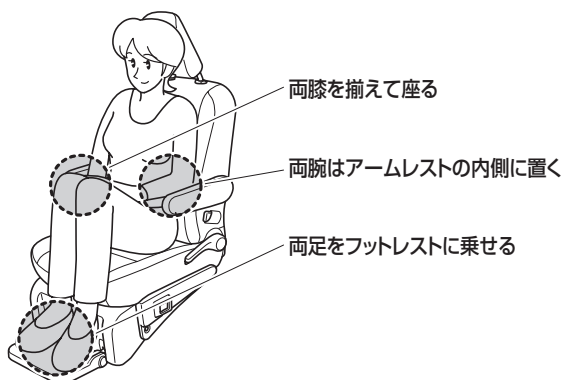
- 1 駐車ブレーキをかけ、シフトレバーをPレンジに入れる
- 2 助手席ドアを全開にする
- 3 乗降できる状態にシートを調整する



(リクライニング調整→ 11 ページ)

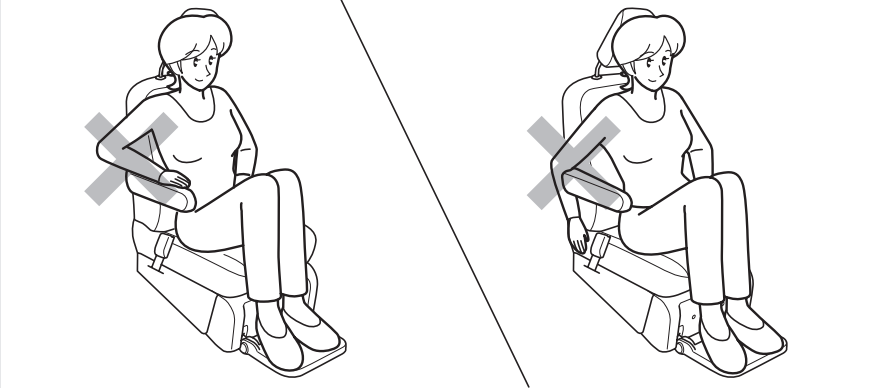
(ヘッドレストの調整→ 12 ページ)

- 4 乗降者を正しい姿勢でシートに乗せる

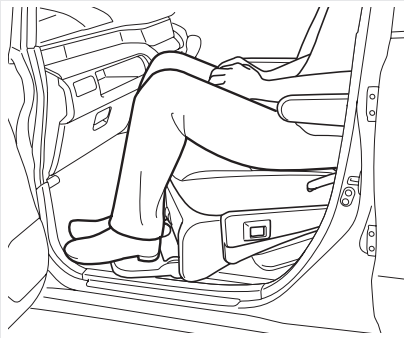


⚠ 注意

- 乗降者の両腕は、必ず左右アームレストより内側においでください。
両腕が外側に出ていると、車両やドアなどに腕を挟むなどして、思わぬけがをするおそれがあります。



- 乗降者の足が開脚状態で回転させると、ひざが車両に当たるおそれがあります。両ひざを揃えてお座りください。



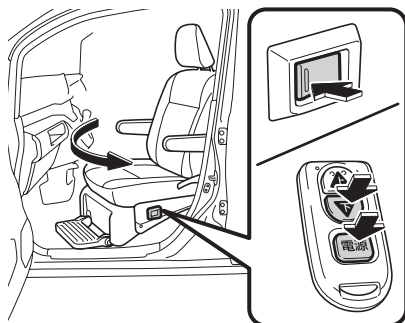
- シートリフトを操作するときは介添えの方が乗降者を補助しながら操作してください。

📖 知識

- 両足をフットレストに乗せることができないときは、介添えの方が支えてください。

シートを車外に出すとき

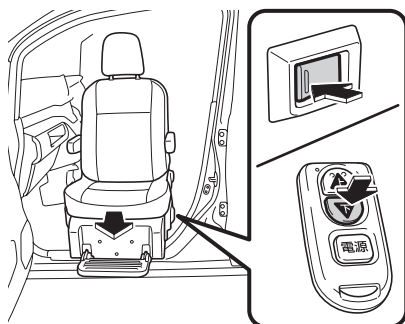
操作方法



- 1 車両とシートの状態、乗降者の姿勢を確認する

(乗車する前に→ 24 ページ)

- 2 乗降者のシートベルトを外す
- 3 操作スイッチの前側（またはリモコンスイッチの“電源” ボタンを押し、“下降” ボタン）を押し続けて、シートを車外側に約 90°回転させる

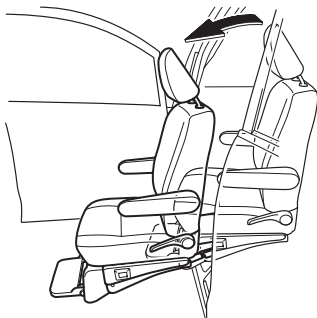


- 4 スイッチを押し続けて、シートを車外側に下降させる

- 下降限度になるとブザーが鳴りますので、スイッチから指を離します。

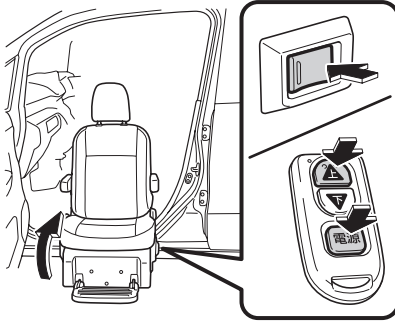
知識

- シートリフトが回転している途中で助手席ドアを閉めないでください。警告ブザーが鳴り、シートは停止します。
- シートリフト下降時は、シート全体が前に傾き、乗降がしやすくなります。



シートを車内に戻すとき

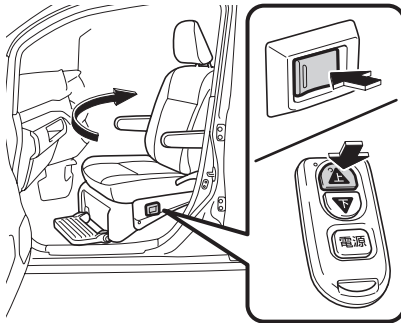
操作方法



- 1 車両とシートの状態、乗降者の姿勢を確認する

(乗車する前に→ 24 ページ)

- 2 操作スイッチの後側（またはリモコンスイッチの“電源” ボタンを押し、“上昇” ボタン）を押しながら、シートを車内側に上昇させる



- 3 スイッチを押しながら、シートを車内側に約 90°回転させる

●シートリフトのシートセットが完了するとブザーが鳴りますので、スイッチから指を離します。

- 4 シートを軽くゆすり、確実に固定されたことを確認する

- 5 助手席ドアを閉める

警告

- シートを車内に戻したときに、警告ブザー（継続音）が鳴り続けるときは、シートが確実に固定されていません。操作スイッチの後側を押しながら、シートセットを完了してください。シートが確実に固定されていないと、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- 助手席ドアとアームレストの間に腕を挟まれないように注意してください。

非常時の収納方法

操作スイッチを押してもシートリフトが動かないときは、ヒューズを点検・交換してください。

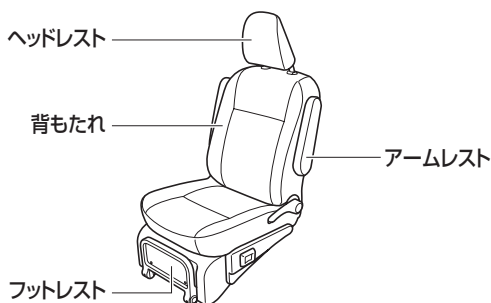
(ヒューズの点検と交換→39 ページ)

万一、シートリフトが下降中、または上昇中に動かなくなってしまったときは、ドアを閉めることができませんので、以下の方法で車内に収納してください。

- 操作スイッチの後側（上昇）は作動するが、前側（下降）が作動しないとき
(上昇するが下降しないとき→29 ページ)
- 操作スイッチを押しても、シートリフトが動かないとき
(スイッチを押してもシートが動かないとき→30 ページ)

⚠ 注意

- シートリフトに座っている乗員がいる場合は、乗員を安全な場所へ移動させてから作業を行ってください。
- 非常時にシートリフトを車内へ収納するときは、必ずシートの背もたれを直立状態にして、ヘッドレストを一番下げた位置にしてください。
また、左右アームレストとフットレストは一番上げた位置にしてください。



上昇するが下降しないとき

シートリフトに異常が発生して、上昇はするが下降しなくなったときは、異常を解除させるために、下記の方法でシートセットを完了させてください。

下降操作が可能になります。

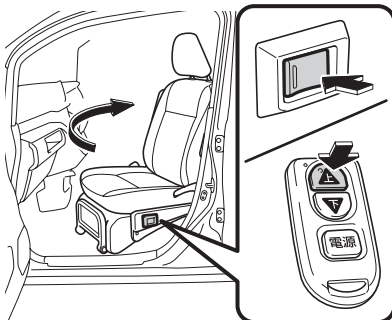
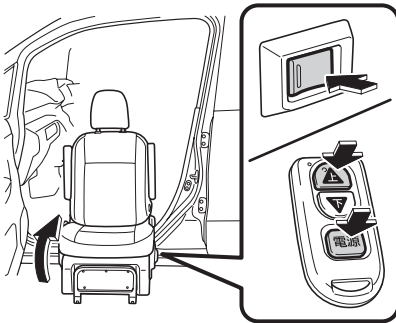
知識

- シートリフトに異常があるときは、警告ブザー（断続音）が鳴り続けます。

操作方法

- 1 駐車ブレーキがかかっていることと、シフトレバーがPレンジの位置で、エンジンが停止していることを確認する
- 2 助手席ドアが全開になっていることを確認する
- 3 操作スイッチの後側（またはリモコンスイッチの“電源”ボタンを押し、“上昇”ボタン）を押し続けてシートセットを完了する

- シートセットが完了すると、ブザーが鳴りますので、スイッチから指を離します。



スイッチを押してもシートが動かないとき

操作スイッチを押してもシートリフトが動かないときは、下記の手順でシートを手動で車内に戻し、ただちにダイハツサービス工場で点検を受けてください。

⚠ 警告

- シートリフトを手動で車内に収納したあとは、シートに人や物をのせないでください。
シートが完全に固定されていないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

シートを手動で車内に戻すときは

- ボルトゆるめるときに指先や手などをけがないように十分注意してください。
- シート可動部に手などを挟まないように十分注意してください。

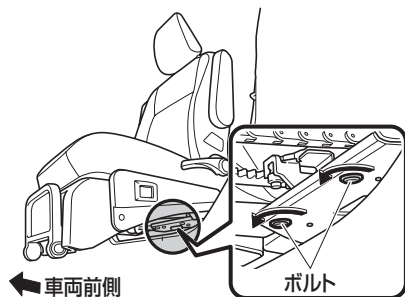
📖 知識

- 操作スイッチを押すとブザーが鳴り、シートリフトがかすかに動くときもあります。

▼ 操作をする前に

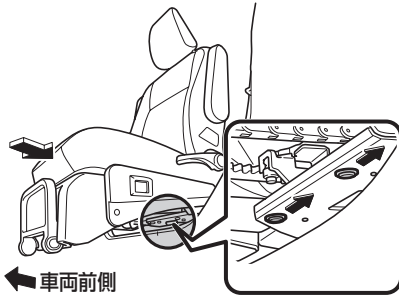
- 車両の状態を確認する
 - 駐車ブレーキがかかっている
 - シフトレバーが P レンジの位置になっている
 - エンジンが停止している
 - 助手席ドアが全開になっている
- グローブボックスからフロントシートリフト非常用工具の六角レンチを取り出す
(非常用工具→ 38 ページ)

▼ 収納方法



- 1 シート底面にあるボルト（2本）を六角レンチで反時計回りにゆるめる

- ボルトは約 3 回転回します。



- 2 ゆるめたボルトを車両後側にいっぱいまでスライドさせて、手でシートを少し上昇させ、ギヤのかみ合わせを外す



- 3 シートが止まる位置いっぱいまで手で上昇させて、車内側へ確実に戻す

⚠ 注意

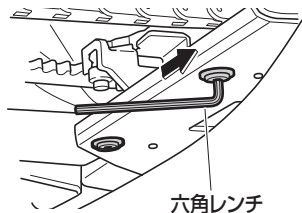
シートリフトを車内側へ戻すときは

- シートリフトが自重で下がらないように、シートを手で保持しながら操作をしてください。シートが急に下降して、けがをするおそれがあります。
- 指や手を挟まないよう十分注意しながら車内側へ戻してください。

📖 知識

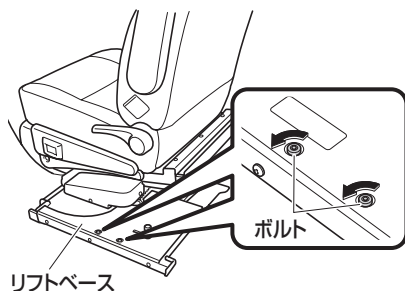
ボルトのスライド操作について

- どちらか片方のボルトをスライドさせると2本同時にスライドします。
- 六角レンチをボルトに取り付けた状態で操作すると、スライドさせやすくなります。



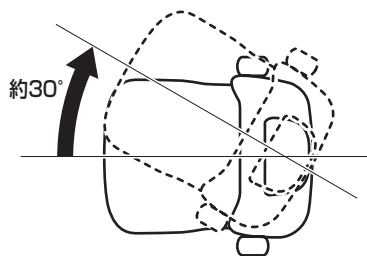
車内側へ戻しているときに途中で止まったときは

- 再度、ボルトを車両後側にいっぱいまでスライドさせ、ギヤのかみ合わせを外してください。



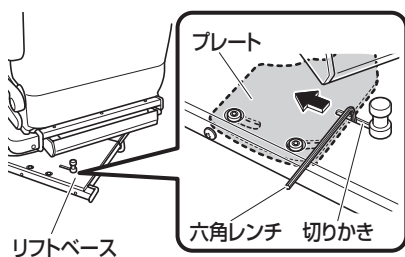
- 4 六角レンチでリフトベースのボルト（2本）を反時計回りにゆるめる

●ボルトは約 1 回転回します。



- 5 シートを手でゆっくりと車内側に約 30°回転させる

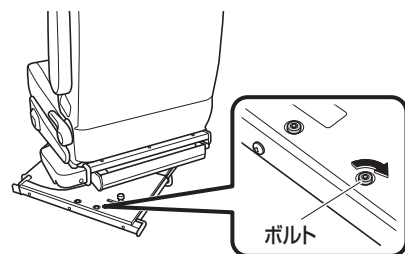
●シートリフトが車内へ回転しないときは、再度リフトベースのボルトをゆるめ、ギヤのかみ合わせを外してください。



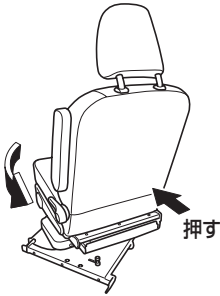
- 6 リフトベースの車両後側にある切りかきに六角レンチを上から差し込んで、内部にあるプレートを左にいっぱいまでスライドさせる

●プレートを押し込み、ギヤをかみ合わせます。

▼ 車両後側

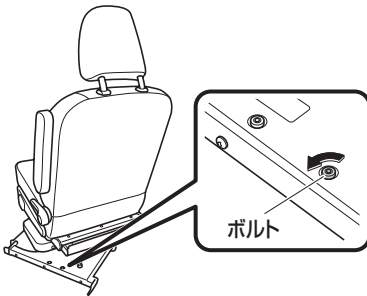


- 7 ボルトを 1 本だけ時計回りに締めつけて固定する

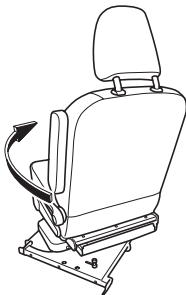


8 いったんシートを車外側（格納方向と逆）に押して、少し回転させる

- シートが回転する幅は、シート後部で約 10mm 程度です。



9 手順 7 で締めつけたボルト 1 本を反時計回りにもう一度ゆるめる



10 シートを「カチッ」と音がする位置まで手で車内側に回転させる

- シートを軽くゆすり、固定されたことを確認します。

11 助手席ドアを閉める

⚠ 警告

シートリフトを収納したあとは

- 必ずシートを軽くゆすり、確実に固定されたことを確認してください。シートが固定されていないと走行中にシートが動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートリフトを手動で車内に収納したあとは、ただちにダイハツサービス工場での点検を受けてください。点検・修理が完了するまでは、シートリフトに座らないでください。

📖 知識

シートリフトが固定されないときは

- いったんシートを車外側へ回転させ、再度「カチッ」と音がする位置まで車内側に回転させてください。
- それでも固定されない場合は、手順 3 からやり直してください。

チャイルドシートの取り付けについて

- シートリフトには、チャイルドシートを取り付けしないでください。
- チャイルドシートは、リヤシート左右席に取り付けることができます。
 - チャイルドシートの選びかた、および固定のしかたについては、ムーヴ取扱説明書（別冊）をご参照ください。
 - ISOFIX 対応チャイルドシート固定バー&トップテザーアンカーによる固定をする場合は、トップテザーアンカーから車いす固縛ベルトを取り外してください。
(固縛ベルトの使いかた→ 36 ページ)
- リヤシートにチャイルドシートを取り付ける際は、以下のことを必ず守ってください。

警告

シートリフトを使用するときは

- シートリフトを使用するときはリヤシートにチャイルドシートを取り付けしないでください。シートリフトが回転する際に、手や足などを挟んでけがをしたり、チャイルドシートにシートリフトが当たって損傷したりするおそれがあります。

チャイルドシートについて

- チャイルドシートは様々なタイプの物があります。取り付け要領はタイプにより異なりますので、必ず十分に確認したうえで取り付けを行ってください。万一のとき、チャイルドシートが外れ、重大な事故につながるおそれがあります。
また、取り付け可能なチャイルドシートについては、ダイハツサービス工場にご相談ください。

車いすの収納

車いすの収納について

⚠ 注意

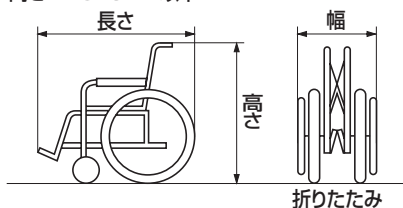
- 各部の操作および車いすの出し入れはけがなどをしないよう慎重に行ってください。
- 平坦地に停車して、収納してください。坂道や平坦でない道路などでの収納は、車いすが不安定になり大変危険です。
- 介添えの方は、必ず駐車ブレーキをかけた状態を確認し、シフトレバーを **Ⓔ** レンジに入れて、エンジンを停止させて収納してください。また、車両周辺の交通に十分注意して収納してください。

📖 知識

- 車いすの形状またはタイヤサイズによっては、収納ができないことがあります。確実に固定されない場合は、収納をしないでください。

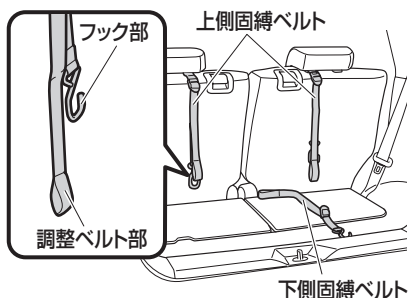
収納できる車いすの寸法（折りたたみ時）

長さ：1,080mm以下
幅：380mm以下
高さ：810mm以下



- リヤシートの背もたれを起こし、前側にスライドさせた状態で収納できる車いすの寸法です。
- リヤシートを前側にスライドした場合、車いすの収納スペースは広がりますが、後席の足元スペースが狭くなります。

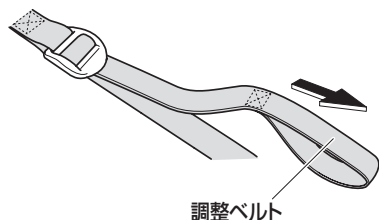
車いす固縛ベルト



- 収納した車いすを固定するベルトです。（3本）
- 車いす固縛ベルトは、車いすの補助的な固縛ベルトです。使用中にゆるみや外れがないことを確認してください。

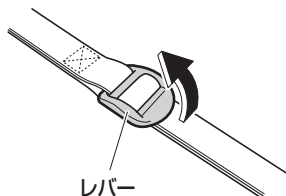
■ 固縛ベルトの使いかた

▼ 固定するとき



- 1 調整ベルトを引き、車いすを確実に固定する
- 2 車いす固縛ベルトのフックを軽くゆさぶり、ベルトにたるみがないことを確認する

▼ ゆるめるとき



車いす固縛ベルトのレバーを引き上げてベルトをゆるめる

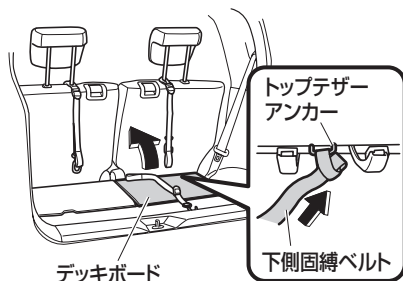
⚠ 注意

車いすを固定するとき

- 車いすをシートの背面に押さえつけるようにして、確実に固定してください。固定されていないと、走行中に車いすが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

ISO FIX 対応チャイルドシートをトップテザーアンカーに取り付けるときは



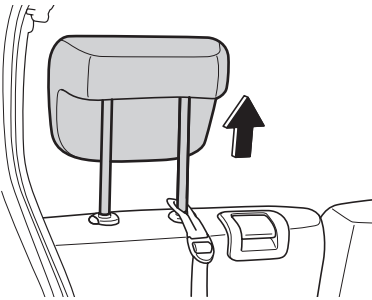
- 下側固縛ベルトは、運転席側デッキボード下のトップテザーアンカーに固定していますので、チャイルドシートを取り付ける前に固縛ベルトを取り外してください。

車いす収納方法

▼ 収納方法

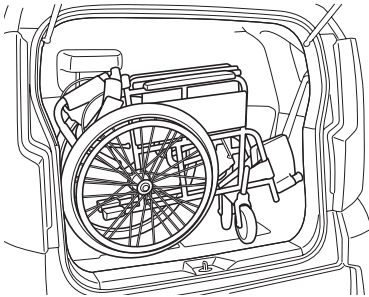
1 リヤシートの背もたれを起こす

- リヤシートの背もたれが確実に固定されていることを確認してください。



2 リヤシート左側のヘッドレストを「カチッ」という音がする位置まで引き上げる

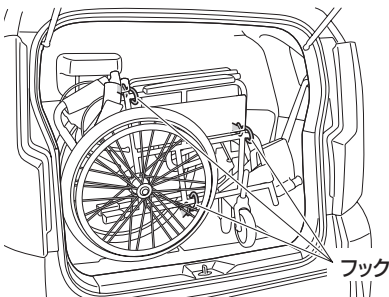
3 車いすを折りたたみ、ラゲージルームに乗せる



4 車いす固定ベルトのフックを車いすのフレームに引っかける

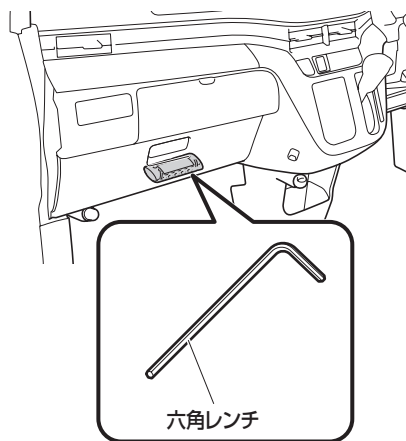
5 固定ベルトを調整し、車いすを固定する

(固定ベルトの使いかた→ 36 ページ)



非常用工具

収納場所



フロントシートリフト非常用工具はグローブボックス内にあります。

▼ 非常用工具

シートリフトに異常が発生して、動かなくなった場合、手動でシートを車内へ格納するときなどに使用します。

知識

- 非常用工具を使用したあとは、もとの包装材でつつみ直してグローブボックス内に収納してください。

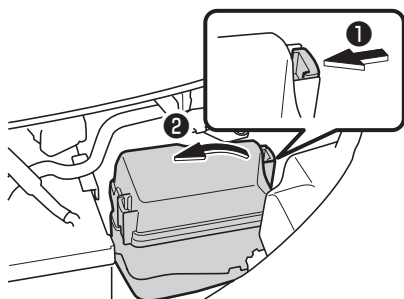
ヒューズの点検と交換

ヒューズの点検と交換

シートリフトが動かなくなった場合は、ヒューズ切れが考えられます。点検、交換を行ってください。ヒューズについてはダイハツサービス工場にご相談ください。

ヒューズの位置

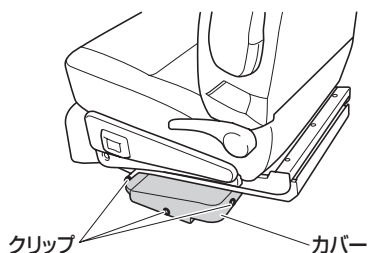
エンジンルーム内



▼ カバーの取り外しかた

カバー横のツメを押しながら (1)、取り外す (2)

リフトベース左側面



▼ カバーの取り外しかた

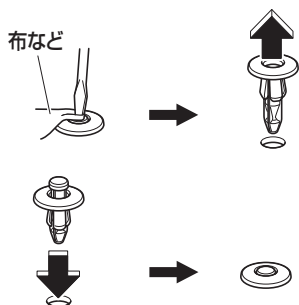
- 1 エンジンスイッチを“OFF”にする
- 2 カバーのクリップ (3 個) を取り外し、カバーを取り外す

▼ カバーの取り付けかた

取り外すときと逆の手順で行います。

知識

クリップの取り付け、取り外しについて



- 取り外すときは、⊖ドライバーで中央部を押し込んだあと、クリップ全体を引っ張ります。
- 取り付けるときは、中央部を引き出したあと差し込み、中央部を押し込みます。

ヒューズの点検と交換

⚠ 警告

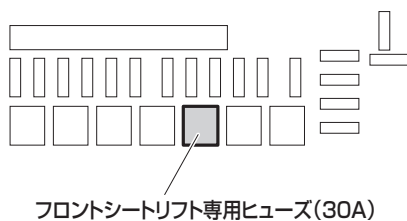
- 規定容量以外のヒューズを使用しないでください。配線が過熱、損傷し、火災につながるおそれがあり危険です。

📖 知識

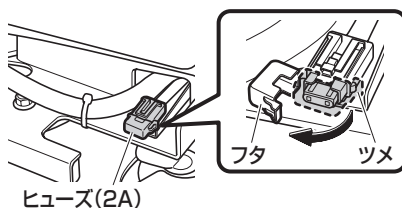
- 交換してもすぐに切れてしまうときは、ダイハツサービス工場で点検を受けてください。

各ヒューズの配置と容量

▼ エンジンルーム内



▼ リフトベース左側面



定期点検整備

車の点検・お手入れ 42

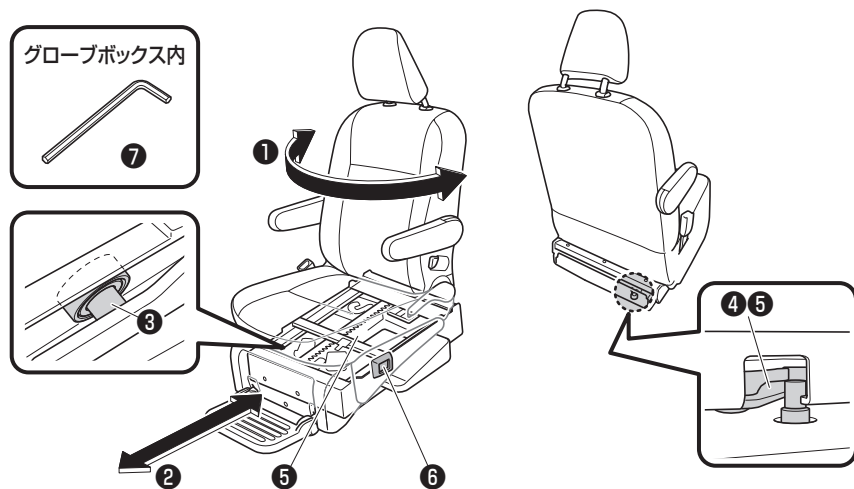
定期点検整備

車の点検・お手入れ

- 故障を減らして長く大切に使うために定期点検整備をお願いします。
- 点検結果を記録する際には、記録簿をコピーしてご使用ください。

点 検 整 備 項 目		点 検 時 期		交 換 時 期 (年)	備 考
		日 常 使 用 者 点 検	自 家 用 車		
			12 か 月 ごと		
リ フ ト 部	① 回転作動	○		○	スムーズさ
	② スライド (昇降) 作動	○		○	スムーズさ
	③ ローラー部		○	○	スムーズさ
	④ ロック状態	○		○	ガタ (異音) がないこと
	⑤ 給油脂状態 (リフトレール、ギヤ部、) 回転ロック部、グリースアップ)			○	※ ガタ (異音) がないこと
	⑥ スイッチ作動	○		○	引っかけりがないこと
	⑦ 非常用工具の搭載	○		○	

※印部グリースアップは異音やリフトのガタ付きが発生した時には随時注油ください。



定期点検整備記録簿

分解整備記録簿

該当なし / 異常なし	✓	交換	×	締付	T	清掃	C
調整	A	修理	△	分解	○	給油	L
							省略
							P

点検の結果および整備の概要

■ シートリフトの点検

《リフト部》

-
- ・回転作動
 - ・スライド(昇降)作動
 - ・ローラー部
 - ・ロック状態
 - ・給油脂状態
 - ・スイッチ作動
 - ・非常用工具の搭載

■

その他必要となった点検整備の内容および主な交換部品

型 式			
架 装 物 名	シートリフト		
車 体 No.			
お 客 様 の 業 種・積載物		架 装 メーカー名	
<div> <div>氏名または名称</div> <div>依頼者の氏名または名称及び住所</div> <div>住所</div> </div>			

メンテナンスに関するアドバイス	
型 式	初年度登録または初年度検査年
自動車登録番号または車両番号(左記の無い車両にあっては、車台番号)	
自動車分解整備事業者の氏名または名称および事業場の所在地 氏名または名称	
事業場の所在地	
認証または指定番号	点検の年月日
点検時の総走行距離	整備を完了した年月日
km	年 月 日
整備主任者の氏名	

MEMO

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary school writing paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

さくいん

ア

アームレスト 14

オ

折りたたみ式フットレスト 13

カ

各部の名称 10

ク

車いす固縛ベルト 35

車いす収納方法 37

車いすの収納について 35

コ

工具 38

工具の収納場所 38

シ

シートリフト 10

シートリフト操作スイッチ 15

シートリフトの使いかた 20

・乗車する前に 24

・シートを車外に出すとき 26

・シートを車内に戻すとき 27

収納できる車いすの寸法 35

チ

チャイルドシートの
取り付けについて 34

テ

点検 42

ヒ

非常時の収納方法 28

・上昇するが下降しないとき 29

・スイッチを押しても
シートが動かないとき 30

非常用工具 38

ヒューズの点検と交換 39

・ヒューズボックス 39

フ

フットレスト 13

ヘ

ヘッドレストの調整 12

リ

リクライニング調整 11

リモコンスイッチ 16

・電池交換 19

MEMO

[illegible]

MEMO

[illegible]

**お問い合わせ、ご相談は、ご購入いただいたお店、
お近くのダイハツ販売会社
またはお客様相談室までお願いいたします。**

**お問い合わせには、あらかじめ下記の事項
について確認のうえ、ご連絡願います。**

- (1) 車名および型式、登録番号
- (2) ご購入年月日
- (3) 走行距離
- (4) お客様のご住所、お名前、電話番号

●印刷＝2014年12月5日 ●発行＝2014年12月10日<非売品>

●編集＝ダイハツ工業株式会社 サービス部

●発行＝ダイハツ工業株式会社

01999-B2318

お問い合わせ、ご相談は、ご購入いただいたお店、お近くのダイハツ販売会社
または下記お客様相談室までお願いいたします。

ダイハツ工業株式会社 お客様相談室

フリーコール  0800-500-0182

受付時間 平日 9:00~19:00

土日祝 9:00~17:00

〒563-8651 大阪府池田市ダイハツ町1番1号

弊社におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、ダイハツ工業株式会社ホームページにて
掲載しております。(<http://www.daihatsu.co.jp/privacy/index.htm>)

ダイハツ工業株式会社

車両の仕様などの変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください